

目標達成計画

作成日: 平成 25年 4月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		施設周辺地域、また家族とのつながりにおいては不十分などがある。運営推進会議には参加しているが、毎回決まった方が参加している状況。家族とも面会時に情報交換をする程度である。	近隣住民との交流の機会を持つようにする。気軽に来苑出来る雰囲気にする。家族がどの職員にも安心して相談が出来るような関係をつくる。	行事のボランティアや学校の体験学習など継続して行う。お茶会やゲームなど利用者との交流の場をつくるようにする。家族、利用者、職員が外出などで時間を共有する。	12ヶ月
2		個々のADLに合わせた個別な対応が出来ていない。定期的にカンファレンス、介護計画を作成し、スキルアップしていきたい。	月1回の職員会や随時ケア会議を開催し、情報の共有を行う。本人、家族の意見を取り上げて個々の能力を最大限活かし、ケアに反映していくようにする。	現在のマニュアルの見直しをし、ケアの振り返りを行う。日頃の生活の中で本人の思いや希望が表出できるようなかかわりを持つ。	6ヶ月
3		災害対策については年2回併設施設と合同で防災訓練を実施しているが、地域を巻き込んだ訓練が出来ていない。	災害時の地域の方との協力体制をつくる。防災マニュアルの見直しをする。	防災設備、避難経路の点検を定期的に行う。地域住民、消防署との連携を図り一緒に訓練を行う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。